

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 研究として、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌に半年分(1冊)の翻刻を発表した。この史料翻刻をもとに、「旗本子女の婚姻について」と題する論文を執筆、学内学会誌に発表した。 また、「竹垣日記」同時代日記の対比検討史料として東京大学法学部法制史資料室蔵「飛驒郡代豊田友直日記」について研究会を組織して翻刻刊行のための作業を開始した。 地方史研究協議会第67回妙高大会(「境」と「間」の地方史―信越国境の歴史像―)に関連した問題提起を大会運営委員会より依頼され、「信越幕領の存在形態」を執筆・発表した。 高井地方史研究会発足50周年「信州中野天領シンポジウム」の報告者・共通討論パネリストに招かれ、その成果として「中野代官就任者の特徴と昇任・場所替」執筆し、『幕領中野陣屋の支配機構と民政』に収録、刊行された。 地域貢献として、平成28年度埼玉県川口市民大学の講師を委嘱され、歴史・文学・芸術コースにおいて「代官伊奈氏歴代の足跡」というタイトルで、4回にわたり市民向けに郷土に縁のある伊奈氏の歴史を講義した。 来年度開館する(仮称)埼玉県川口市歴史自然資料館における歴史編の展示映像・台本等監修した。 社会貢献として、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。	
2 その他の事項	
3 次年度以降の計画・抱負 同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、昨年度より着手した「飛驒郡代豊田友直日記」の翻刻を進めていきたい。同時代、且親交があり同職の幕臣日記は希有であり、別に豊田友直の実父「久須美祐明日記」も刊行され、日記を総合的に比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣の心性、施策を明らかにしていきたい。	